

平成22年4月28日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 NPO法人小牟心ハートピア

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

精神障がい者を支援する市民講座
～ 精神障がい者を支える地域の市民協力を育てる ～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
「障がい者共通化のなかで、精神障がいは依然として取り残されている。大量失業、総ラフの時代に福祉環境は極めて厳しい状況にある。地域に在住する市民の方で精神障がい者を支える市民協力の必要性を訴え参加を呼びかける」

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
精神障がい者支援の現状と課題を7回シリーズで学習する
第1回 精神保健研究所の紹介と地域活動、第2回 精神科医療と相談、第3回 地域生活支援、第4回 就労支援、第5回 依存症と自助活動、第6回 病院、施設等の見学、第7回 精神障がい者の自立支援と市民協力のあり方に関するシンポジウム

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

(工夫点) 1. 国立精神神経センター精神保健研究所から講師を仰いだ。
2. 依存症自助グループの活動力(横浜、石川、東久留米市のグループ、Aグループ)を学習。
3. シンポジウムに東京都社会福祉協議会から講師を依頼した。
(効果) 1. ナショナルセンター研究所のテーマの見えた。
2. 当事者の発表が注目を集めた。自助グループとの協力がこれからの課題。
3. 市民協力の推進役としてこれからの期待をした。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

1. 福祉環境が最悪の状況にある。地域社会資源の連携感が低下しており、市民協力がますます期待されている。
2. 自ら語りたがらない当事者や家族の声をあつと発信していかねばならない。
3. 障がい者福祉も新しい時代を迎えている。取り残された精神障がい者支援のため市民の支援力をさらに強化し市民協力をより新しい支援システムを作りたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし